

実践記録（小3・総合的な学習の時間）

1 ねらい

動画を視聴して、ゲーム障害によって健康が損なわれることやゲームには止められなくなる仕組みがあることを知って、ゲームをするときの約束を考えることができようにする。

2 手立て

- ・ ゲーム障害を理解することにより、約束の大切さに気付かせる工夫

文部科学省が提供する動画「ネットゲームに夢中になると…」を視聴し、ゲーム障害とはどんな被害がでるのか、ゲームには止められなくなる仕組みがあることを理解させる。ゲーム障害の問題を理解させることで約束の大切さに気付かせるようにする。

- ・ 約束を継続して守らせる工夫

約束を継続して守れるように、期間において、振り返らせる場を設定することにした。授業実践の一週間後、夏休み前、夏休み後に振り返ることにした。夏休み中はゲームをする機会が増えるので、休みの前後で振り返ることで、約束がより意識づけられるようにした。

3 実践の様子

「ネットゲームに夢中になると…（導入編）」を児童に見せたところ、「怖い。」「こうなるのはいや。」と感想を述べ、ネット障害の怖さや被害を知ったようだった。ゲームを止められなくなった登場人物がとても困っていることに驚いていた。

次に解説編を見て、ゲームには止められなくなる仕組みがあることを知った。解説編を見終わった後に内容を振り返ると、「成長」や「役割」という動画の中で使われた言葉がスラスラと出てきた。ゲームを楽しんでいる経験から、「成長」や「役割」は、止められなくなる仕組みだと納得しやすかったようだ。

2. なぜやくそくがいるのでしょうか。

ゲームのやめられなくなる仕組みがあるから たとえば、待ち合わせ成長、役割 など

【ゲームの止められなくなる仕組みに関する児童の記述】

動画に出てきた被害に遭わないようにするためにどんな約束をしたらよいかと発問をすると、動画の中で深夜でもゲームを止められなくなったことから、ゲームをする時間を決めることの大切さに気付き、「ゲームは○時間まで」「時間が守れなかったらゲーム機を使わない」というように時間に関わる約束を考えることができた。

4 成果と課題

- ゲームに約束がある理由を、事前アンケートでは「目が悪くなる」と書いていた児童が多かったが、授業時のワークシートでは「ゲーム障害になるから」「止められなくなる仕組みがあるから」と書いた児童が多かった。ゲームが止められなくなる仕組みを理解することで、約束の大切さを実感しているようだった。
- 夏休み後の振り返りで、ゲームに約束がある理由を、5割の児童が動画で見たゲーム障害の被害やゲームの仕組みを挙げたが、5割の児童が「目が悪くなる」に戻っていた。「目が悪くなる」という理由は、家庭で教えられていると思われ、家庭の影響力の強さを感じた。継続的な注意喚起のために、家庭との連携が必要であった。